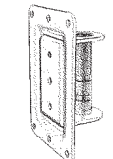




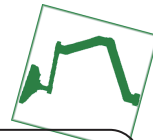
ARM-16HW/HWB

URL <http://www.livecreator.co.jp/>

この度は弊社製品をご採用賜り、誠にありがとうございます。ご設置、ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みいただきますようお願い申し上げます。「安全上のご注意」は必ずお読みになり、正しくお使いください。

梱包する部品の一覧	添付品
 <p>ピボットヘッド(カムレバー式：高荷重用) 液晶ディスプレイをアームと結合します。 液晶ディスプレイをスタンドやアームに取りつけるためのネジ穴の規格・VESA75に対応しています。</p>	VESA用ネジ M4X10 × 4 6角レンチ (4mm) × 2 6角レンチ (3mm) × 1
 <p>VESA100変換用プレート 液晶ディスプレイをスタンドやアームに取りつけるためのネジ穴の規格・VESA100に対応するために、VESA75をVESA100に変換するためのプレートです。 VESA75の液晶ディスプレイには不要です。</p>	VESA用皿ネジ M4X10 × 4 M4ネジ用ナット × 4
 <p>ブラケット 壁面固定用のブラケットとピンのセットです。 添付の木ネジ4本で、壁面に固定することができます。 なお、添付しているカールプラグというプラスチックは、コンクリート壁にドリルで穴を開けた場合、後で木ネジが効くようにするもので、コンクリート壁の穴に金槌などで軽く叩き込んで用います。</p>	木ネジ × 5 カールプラグ × 5 ネジ M6X8 × 2 金属製ワッシャ × 2 プラスチック製スパーサ × 1

これからも、ライブクリエイターは新しいLCDライフをお楽しみ頂ける様、様々な製品をご提案申し上げます。
よろしくご指導ご鞭撻ください。お願い申し上げます。



液晶ディスプレイ用アーム 保証書 (商品名：ライブクリエイターARM-16HW/HWB)

- 保証期間内に、取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書きに従った正常な使い方での故障した場合は、本書記載内容に基づき無料修理いたします。
- 保証期間内であっても、つぎの場合は有償の修理となります。
 - (1) この保証書の提示がない場合。
 - (2) 保証書に、ご購入の年月日、お名前(貴社名)、取扱い店名がない場合、および保証書の文言が書き換えられた場合。
 - (3) 改造、または不当な修理による故障および損傷。
 - (4) ご購入後の移動、落下などによる故障および損傷。
 - (5) 火災や天災などによる故障および損傷。
 - (6) 消耗品の交換。

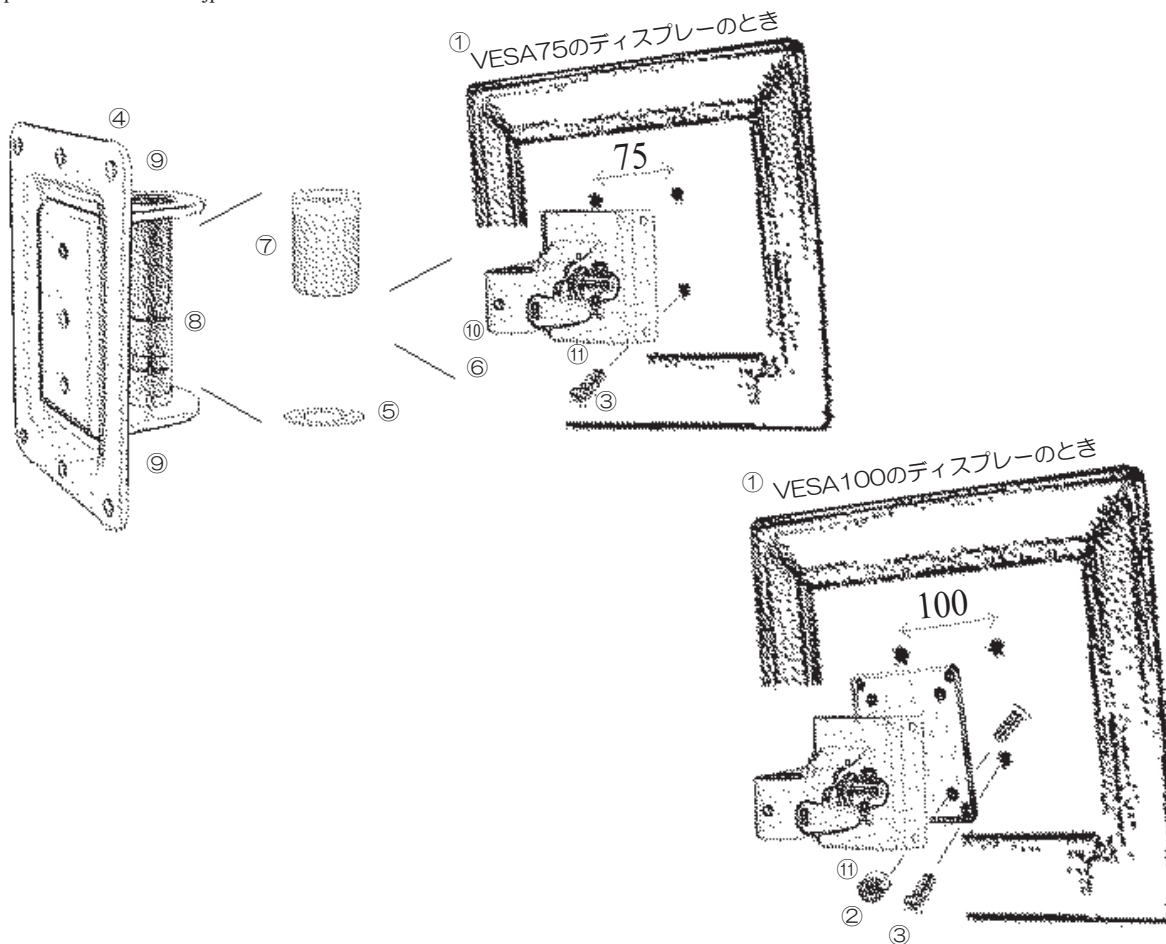
※ この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This Warranty is valid only in JAPAN.

ご購入年月日	保証期間 ご購入の日より 1年間
お名前	
ご住所	
取扱い店名 (住所 電話)	


株式会社ライブクリエイター
<http://www.livecreator.co.jp/>

品質表示	一般名称	液晶ディスプレイ用壁面固定式汎用アーム
	商品名(型番)	ライブクリエイターARM-16HW/HWB
	固定方法	ブラケットで十分な強度のある壁面に直接固定
	特長	水平に回転する関節と上下に回転する関節で、狭い範囲での可動。 ブラケットで固定しますので、一体化し、半永久的に安定します。
	耐荷重	max 13Kg
	主材質	鋼材および一部プラスチック
	モニタ取付部	液晶ディスプレイの規格・VESA 75mm / 100mmに対応
ケーブル収納方法	特になし	

安全上のご注意	
	警告 この表示を無視し、誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この製品内部の分解および改造は絶対にしないでください。 この製品の耐荷重に変化をきたし、事故や故障の原因となります。
	この製品内部の点検、調整、修理は、危険ですから絶対にしないでください。 この製品の耐荷重に変化をきたし、事故や故障の原因となります。
	この製品を不安定な場所や脆弱な箇所に絶対に取り付けしないでください。 事故や故障の原因となります。
	この製品を振動や衝撃の多い場所に置かないでください。 事故や故障の原因となります。
	この製品に液晶ディスプレイ以外のものをぶら下げたりしないでください。 事故や故障の原因となります。
	この製品に耐荷重以上の液晶ディスプレイは絶対に取り付けしないでください。 重大な事故や故障の原因となります。
	メインアームを、上下逆さにして取り付けしないでください。 重大な事故や故障の原因となります。
	ネジを締めたあとは必ず締め具合をチェックしてください。 チェックを忘れると、重大な事故や故障の原因となります。
	プラスチックノブでアームの関節の硬さを調節するとき、硬めに調節してください。 緩めに調節すると、事故や故障の原因となります。
	注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害が想定される内容を示しています。
	この製品に水などの液体を入れたり、この製品を濡らしたりしないでください。 さびの原因となり、事故や故障を招くもととなります。



設置の手順

- ①ディスプレイの裏面を見て、ネジ穴とネジ穴の間隔（VESA規格）が75mmか100mmか、チェックします。
- ②VESA100規格の場合、ベサ変換プレート（正方形の板状）をピボットヘッドと呼ぶ金具に添付の皿ネジとナットを使い、一体化させます。プラスのドライバなどの工具は事前にご用意ください。添付のナットは中に緩みどめのナイロンが入っているため、締める際、ナイロンの山を越える瞬間、より強い力が必要となります。

- VESA75規格の場合、ベサ変換プレートは使用しません。
- ③VESA100規格ではベサ変換プレート、VESA75規格ではピボットヘッドを、ディスプレイ裏面のネジ穴に添付のネジで固定します。
- ④壁つけ用ブラケットを添付の木ネジで壁面に固定します。
- ⑤壁つけ用ブラケットにはめるピンにプラスチック・ワッシャをはめます。
- ⑥ディスプレイをつけたピボットヘッドを、はずした壁つけ用ブラケットのピンに、プラスチック・ワッシャの上からはめます。
- ⑦プラスチック製スペーサを、はずした壁つけ用ブラケットのピンに、ディスプレイをつけたピボットヘッドの上からはめます。
- ⑧壁つけ用ブラケットに、ディスプレイをつけたピボットヘッドなどがはまった状態のピンをはめ、上下を金属ワッシャとネジではさみます。
- ⑨ピンの上下のネジを4mmの六角レンチで締めます。
- ⑩穴にはまっているネジを3mmの六角レンチで調整、壁つけ用ブラケットのピンの溝に固定します。
- ⑪レバーを立てて、ネジ部を緩め、液晶ディスプレイの傾斜を調節します。傾斜の調節を終えたら、再びレバーを寝かせ、ネジ部を締めます。（以上）